

アウル内に委員会を立ち上げ 全スタッフの学習の場に

「アウルコート真駒内」では8月から委員会を設け、施設内の業務整備やトラブルの予防や対策、解決などに向けた活動を行っています。設置した委員会は、感染対策、事故防止、苦情処理、給食運営、CS(顧客満足)向上の5つ。スタッフは必ずどれかひとつの委員会に所属することとし、ご入居者様の満足度の向上に努めるのは



もちろん、スタッフ自身の研さんの場にもなっています。

各委員会では、それぞれのテーマに基づいた目標を立て、月1回のミーティングで学びを深めています。「委員会で受け

止めた問題をスタッフ一人ひとりが自分自身のものとしてキャッチして、自ら問題解決の主人公になってほしい」と、ライフマザー(施設長)の武田ひろみは期待しています。

スタッフ リレーエッセー

四つ葉のクローバー

生活相談員 中村 彩子

大切にしているものがあります。かさかさ乾いて、紙で包まないと壊れそうな、でも緑色は鮮やかな四つ葉のクローバー。以前、ある方にいただいたものです。その方は、働き盛りの年齢で倒れ、車椅子が必要な重い障害が残りました。ある日、ご家族と草むらを散歩されたとき、車椅子から手が届く草むらの一点をしきりと指さすので、見てみるとその先には四つ葉のクローバーがありました。探そうと思ってもなかなか見つけれられないものを、なぜ見つけれられたのか不思議ですが、同じことが何度もあったようで、私にもそのうちの一本をくださいました。

手と手を通じ、不思議なつながりで私の手元にやってきたクローバーを見ると、この仕事で得られるたくさんの「縁」を忘れずに大切にしたいと、いつも教えられます。



大切にしているものがあります。かさかさ乾いて、紙で包まないと壊れそうな、でも緑色は鮮やかな四つ葉のクローバー。以前、ある方にいただいたものです。その方は、働き盛りの年齢で倒れ、車椅子が必要な重い障害が残りました。ある日、ご家族と草むらを散歩されたとき、車椅子から手が届く草むらの一点をしきりと指さすので、見てみるとその先には四つ葉のクローバーがありました。探そうと思ってもなかなか見つけれられないものを、なぜ見つけれられたのか不思議ですが、同じことが何度もあったようで、私にもそのうちの一本をくださいました。

コンセプトブック、 無料で差し上げています

「アウルコート真駒内」の詳しい内容がわかるコンセプトブック。ご希望の方は、下記までご請求ください。



●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)

アウルコート真駒内

〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3
TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133

- 地下鉄南北線「真駒内」駅下車
- じょうてつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗車(約5分)「南町4丁目」停下車(徒歩約4分)

<http://www.owlcourt.jp>



ふくろうの家 その4 2007年10月 だより

●発行/株式会社私の青い空
●編集/アウルコート真駒内広報室 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3 ☎011-588-1122



「環境がケアするという考え方」—小笠原み蔵さんの作品との出会い—

ライフマザー(施設長) 武田ひろみ

夏の賑わいもようやく去り、たくさんの収穫物をもたらしてくれた「アウルコート真駒内」の畑では、今まさに虫たちが次の季節へ繋ぐかのように騒々しい声を競っています。

アウルでは、「環境がケアする」という考え方を大切にしています。座り心地の良い椅子やコーヒーの香り、一輪挿しに揺れるカスミ草や軽やかなモーツァルトのBGM、今日温室で見つけた名も知らぬ白い花、そして道産子画家たちが描く絵画や彫刻の作品等々…。暮らしの中のさもないしつらさは、そこに住む人の心を和ませる優しい時間を作り出してくれます。スタッフも環境を構成する一員として、身だしなみを整え、施設内の清掃にも目を配っています。

そんな中で出会ったのが、造形作家・小笠原み蔵さんの作品です。2000年に初めて雑誌で拝見した時の衝撃は忘れられません。北海道で木彫りといえばクマという既成概念を、み蔵さん

は人間の心を持つブタで打ち砕いたのです(トンカツ屋さんのキャラクターとしてご存知の方も多いのでは?)。その作品群は私たちの心を癒し、生活にウィットを与えてくれます。

私たちのコンセプトに共感されたみ蔵さんは、ホームのキャラクターでもあるフクロウを作品にしてくださいました。玄関ホールでは、ジャズを演奏している3匹のフクロウのオブジェがお客様をお迎えしています。じわじわと効く面白さが込められているみ蔵さんの作品。これからもずっと、アウルに集う人たちの心を満たしてくれることでしょう。

●「アウルコート真駒内」にあるユニークな彫刻の作者・小笠原み蔵さんの作品が展示されます

「円山動物園芸術祭2007」

と き:10月6日(土)~28日(日) 9:00~17:00
と ころ:円山動物園(札幌市中央区宮ヶ丘3)

アウルの畑で野菜がたくさん採れました おいしい収穫祭で舌鼓

わいわいとおしゃべりも楽しかった収穫祭



チャンチャン焼き。鮭も野菜もおいしそう!



6月、庭を壊して畑を造成



6月、苗を植えました



7月、すくすく育つトマト



アウル産の野菜を収穫!



枝豆をもいで、収穫祭の準備中

自家栽培野菜は大豊作 バーベキューで収穫の喜びを堪能

「真駒内アウルコート」の裏庭に畑があることをご存じですか? 長く農業をされてきたご入居者様のリクエストに応じて、6月に庭を畑に造成したもので、根菜も育てられるよう1.5mほどの深さまで黒土を入れた本格的な菜園です。

栽培しているのはミニトマト、かぶ、ピーマン、ほうれん草、パセリ、枝豆、ししとう、大葉など13種。ご入居者様の指導のもと、スタッフが毎日世話をした努力が実り、夏から秋にかけてたく

さんの野菜が採れました。毎日の食事では使い切れず、ご入居者様がおやつ用にもいで食べた、来訪者に差し上げたりしたほどの豊作となりました。

9月5日(水)には、アウルの野菜の豊作を祝う収穫祭を行いました。中庭にテーブルとイスを出し、心地よい風が吹くなかで、アウトドアディナー。普段から手作り野菜を差し入れてくださっていた地域の方々や、提携先の清和会南札幌病院の齊藤晋院長も参加され、賑

やかな夕食となりました。

メニューはバーベキューとチャンチャン焼き。ご入居者様とスタッフが協力して午前中から下処理をした枝豆をはじめ、アウル産の朝もぎ野菜もおなかいっぱい食べました。

「来年は何を植えようか?」。ご入居者様もスタッフも、来シーズンが楽しみ。アウルでの暮らしに、またひとつ豊かな彩りが加わりました。

地域といっしょに

花火大会 ご近所との 親睦にも一役



8月9日(木)の夜、駐車場で小さな花火大会を行いました。浴衣を着てスイカを食べながら、夏の夜を楽しむ趣向です。花火をしていると、ご近所の子どもたちが集まってきました。その数7名。思わぬ地域交流にご入居者様もスタッフも大喜び。1時間にも満たない時間でしたが、後日「花火でうちの子がお世話になりました」と初対面の方にあいさつされるなど、地域とのつながりを生む機会にもなりました。



廃品回収 真駒内南小学校PTAに協力

アウルでは3カ月に1度、ご入居者様とスタッフが施設改善のために話し合う運営懇談会を実施しています。7月の議題となったのは廃品回収。これまでは回収業者に出していましたが、真駒内南小学校が廃品回収で得た利益を図書購入費用などに充てているという話を聞き、小学校の廃品回収に参加することを決めました。早速、小学校から回収場所を表示する看板をいただき、8月から毎月参加。少しでも地域のお役に立てていることをうれしく思っています。



いきいきサロン

コンサートへのご来場、お待ちしております

アウルでは、これからご入居をお考えの方や地域の方々と交流を深めるために、「いきいきサロン」と題した地域交流会を企画しました。記念すべき第1回目はザ・モダン・バロックのコンサートです。ヴォーカルリコーダーの横田朱乎さんが、ピアノとカホン(パーカッション)とのトリオで、バロックの名曲をモダンなアレンジで聴かせます。入場は無料。ご希望の方は事前にお電話などでアウルまでお申し込みください。

横田 朱乎さん



寺西 幸子さん



佐藤 裕一さん

●10月17日(水) 開場13:30、開演14:00
●アウルコート真駒内レストランにて

ご報告

有料老人ホームのセミナーを開催しました

去る9月22日(土)、札幌エルプラザで行われた全国有料老人ホーム協会セミナー「ライフスタイルの選択と創造」に、アウルも札幌近郊7つの施設とともに参加。相談会では個々の来場者の質問や疑問に答えました。

